

TOSHIBA

東芝パッケージエアコン
(天井カセット形 4 方向吹出しタイプ)

気化式加湿器 取付説明書 (1)

形名 TCB-HS905U
TCB-HS1605U

日本国内専用品
Use only in Japan

このたびは東芝パッケージエアコン用「気化式加湿器」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。取付の前にこの説明書をよく読み、正しい取付を行ってください。

安全上のご注意

安全上のご注意については、天井カセット形 4 方向吹出しタイプ (室内ユニット) の据付説明書・取扱説明書もご覧になり、お守りください。

- 取付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。表示と意味は次のようになっています。

警告 「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること」を示します。

注意 「誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。

※ 1 : 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※ 2 : 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害をさします。

警告

工事の部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する

付属部品および指定部品を使用しない場合には、水漏れや感電・火災等の原因になります。

清掃または点検をするときは、必ず機器の運転を停止し、電源を切る

電源を切らないで作業をすると、ケガや感電・火災等の原因になります。

消防法・水道法などで規制される取り扱いについては、専門業者に依頼する

注意

ドレン配管は、取付説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないように断熱または保温する
配管工事に不備がある場合には、屋内に水漏れし、家財などをぬらす原因になります。

給水配管は、取付説明書に従って確実に施工し、結露が生じないように断熱または保温する
配管工事に不備がある場合には、屋内に水漏れし、家財などをぬらす原因になります。

取付上のご注意

- 加湿器の取付工事は、必ずエアコン本体を据え付ける前に行ってください。また、加湿器組み込み後の輸送はしないでください。
- ヒューミディスタット (23Hu) (現地手配) は、湿度低下で接点が閉となる形式で接点容量 200VA 以上のものを準備してください。
- 加湿器取付側の天井面に□ 450mm 以上の点検口を必ず設置してください。
- 供給水質は、上水道または同等以上。
- 給水は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、シスターン (型式認可品) (現地手配) をご使用ください。
- 現地手配の給水配管に死水排水バルブの取付をおすすめします。冷房シーズンなどで長期間加湿器を使用しないときは、給水配管内の水が腐敗してしまいます。その水が加湿 (暖房) シーズン開始時に加湿器に給水されると、匂いの発生や菌の繁殖の原因になります。加湿 (暖房) シーズン開始時の運転前に、死水排水バルブと給水用サービスバルブを開き、配管内を新しい水に入れ換えてから使用してください。
- 使用給水圧力は 0.05 ~ 0.5MPa (ポンプで給水する場合は 0.05 ~ 0.3MPa)、水温は 5 ~ 40℃ です。この範囲内でご使用ください。
- 使用給水圧力範囲を超える場合は給水系統毎に別の減圧弁 (現地手配) を設け、使用範囲内の圧力になるよう調整してください。
- 加湿 (暖房) シーズン後は、給水用サービスバルブを必ず閉めてください。
- 通気に腐食性ガス・塩分・オイルミストを含まないようにしてください。
- シーズン開始時には、Y 型ストレーナの清掃を行ってください。
- 現地手配の給水配管にも断熱処理を行ってください (断熱材現地手配)。給水配管内の水が凍結した場合、水の体積膨張により配管や接続部を破壊し、漏水の原因となります。

1. 仕様

形名		TCB-HS905U	TCB-HS1605U
適用 室内ユニット 形名	店舗用 AIU-	AP407H, AP457H, AP507H, AP567H, AP637H AP717H, AP807H, RP711H, RP403H, RP453H RP503H, RP563H, RP633H, RP713H	AP1127H, AP1407H, AP1607H RP801H, RP1121H, RP1401H, RP1601H RP803H, RP1123H, RP1403H, RP1603H
	マルチ用 MMU-	AP287H, AP367H, AP457H, AP567H, AP717H AP807H, AP907H, UP281H, UP361H, UP451H UP561H, UP711H, UP801H, UP901H	AP1127H, AP1407H, AP1607H UP801HD, UP901HD UP1121H, UP1401H, UP1601H
電源		単相200V 50/60Hz	
周囲温湿度		5℃~40℃ 90%RH以下	

2. 付属部品 (次の部品が入っています)

品名	取扱説明書	取付説明書	加湿器本体	給水軟銅管	給水接続部用断熱材	断熱材A	断熱材B	ビニタイ	閉端接続子
形状									
数量	1	2	1	1	t10x100x100 2	t3x120x580 2	t=3 2	L=200 5	2

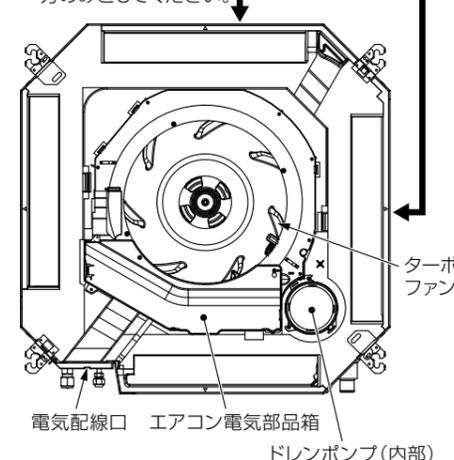
品名	取付ねじ	入出力基板	通信ケーブル	スペーサ	短絡コネクタ
形状					
数量	8	1	1	3	1

3. 取り付けかた

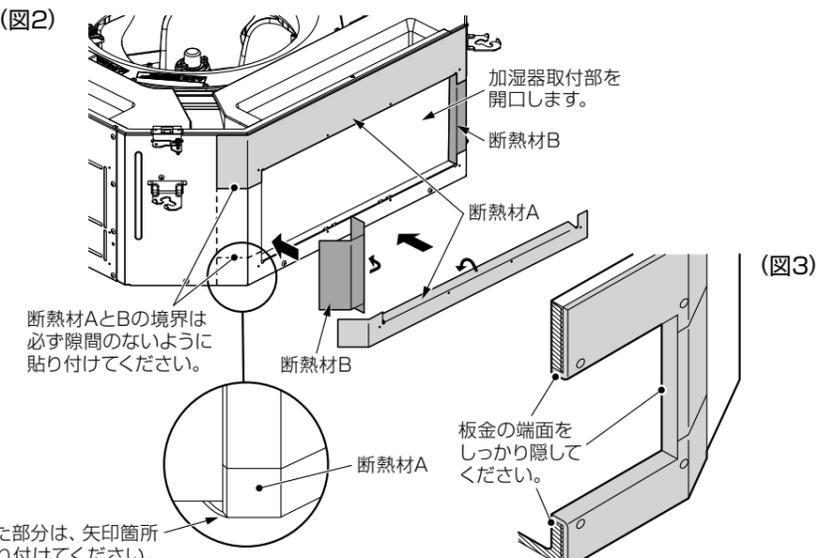
取付手順 加湿器の組み込みは、必ずエアコン本体を据え付ける前に行ってください。

1. 加湿器はエアコン本体側面のどちらか一方に取り付けできます。
2. エアコン側面の加湿器取付面ハーフカット部の板金を金鋸・ニッパーなどでていねいに切断し開口してください。さらにエアコン内面の断熱材をよく切れるカッターなどで板金に沿ってていねいにカットし、角穴を開口してください。(図 1, 2) 内部にドレンホース・熱交換器がありますので、損傷しないように注意して作業してください。
3. 角穴開口後、開口部周囲に付属の断熱材 A、B を貼り付けてください。(図 2, 3)

(図1) 加湿器の取り付けは必ずどちらか一方のみとしてください。



(図2)

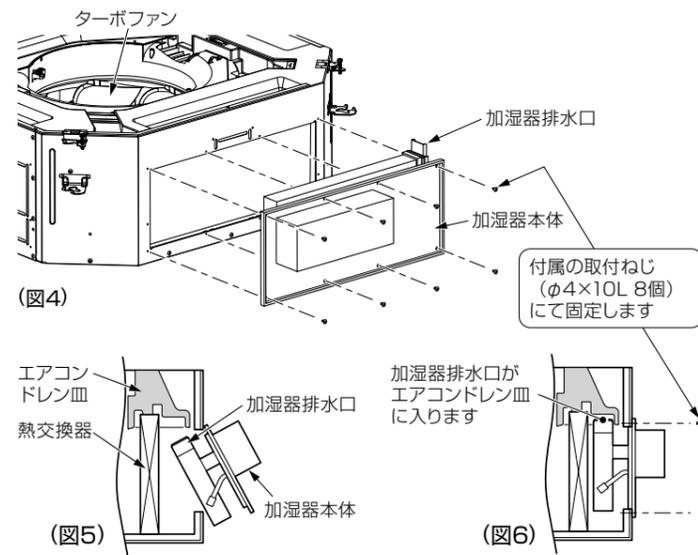


断熱材Aの端の余った部分は、矢印箇所にスリットを入れ貼り付けてください。反対側も同様に貼り付けてください。

(つづく)

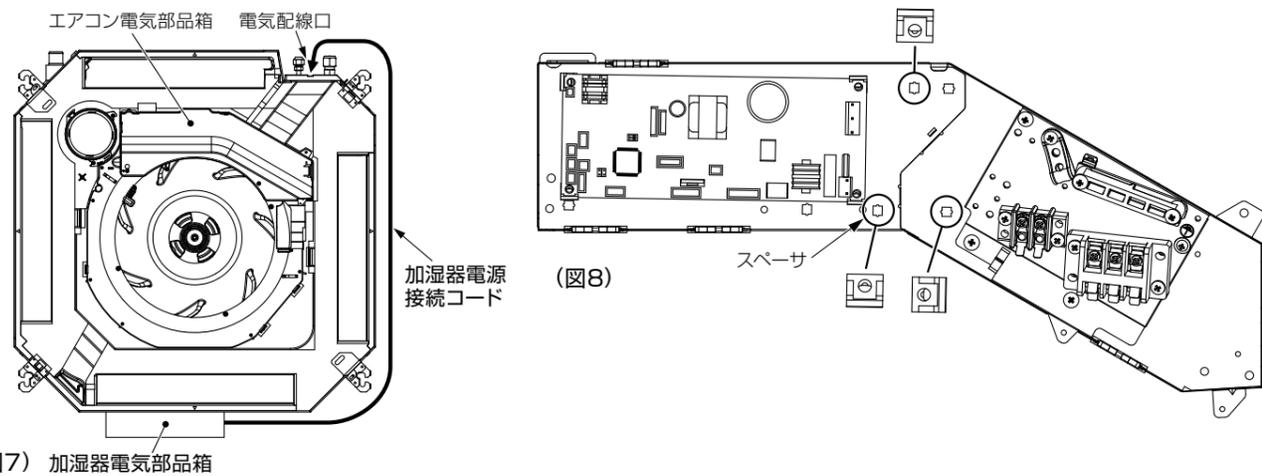
取付手順 (つづき)

- 加湿器本体の向きに注意して、開口したエアコン側面の角穴に取り付けます。このとき、加湿器排水口がエアコン本体のドレン皿に確実に入っていることを確認してください。(図4, 5, 6)
- 付属の取付ねじ(φ4×10L 8個)で加湿器本体を固定してください。(図4, 6)



電気配線

- エアコン本体の電気配線口からエアコン本体へ配線を引き込みます。(図7)
- エアコン電気部品箱の蓋を開き、付属の入出力基板に同梱のスペーサ3個を室内PC板横の板角穴位置に取り付け、入出力基板を取り付けます。(図8) スペーサは取り付け方向を確認して取り付けてください。



- 入出力基板に同梱の通信ケーブルを室内PC板のCN521(赤)に差し込みます。(図9)
- 通信ケーブルの反対側を入出力基板のCN1(赤)に差し込みます。(図9)

警告

電気配線作業は配線材に傷を付けないように行う配線材に損傷があると、動作不良や発熱・火災の原因になります。

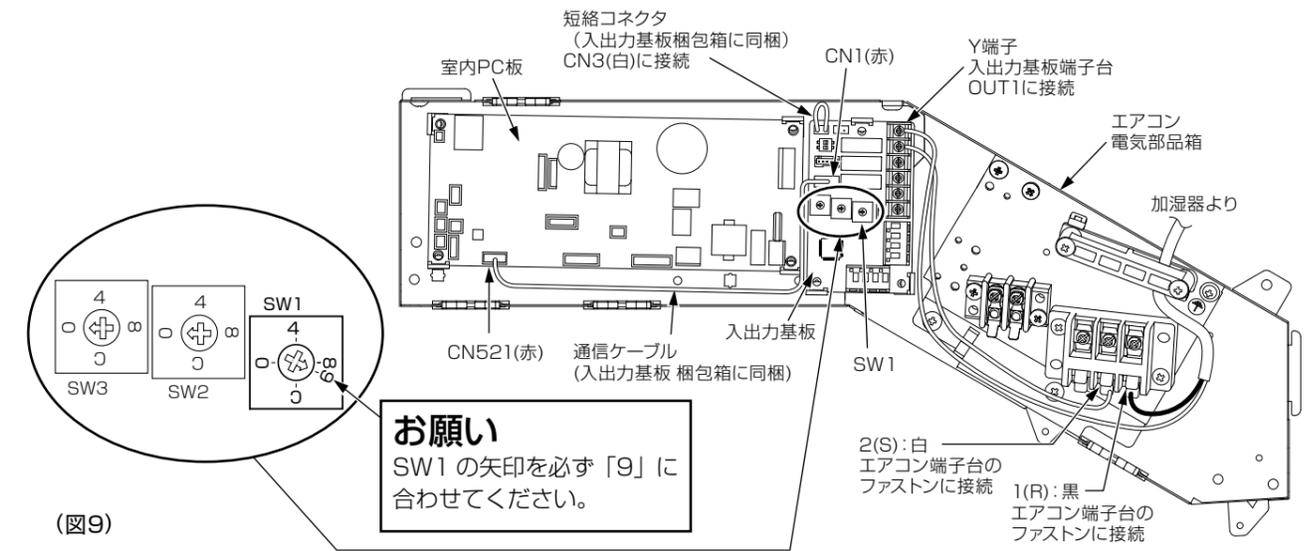
注意

短絡コネクタが接続されていることを確認する
結線しないと水漏れの原因になります。
入出力基板のSW1を「9」に設定する
設定番号を間違えると水漏れの原因となります場合があります。

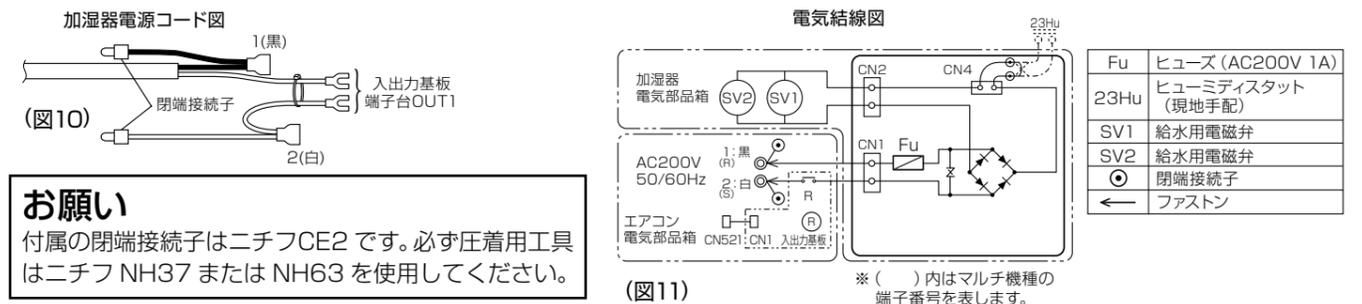
お願い

余った加湿器電源接続コードは配管等に接触しないようにきれいに束ねてください。

- 加湿器電源コード(黒)のファストンをエアコン端子台1(R)に、加湿器電源コード(白)のファストンをエアコン端子台2(S)に接続します。(図9)
- 加湿器電源コードのY端子(2P)を入出力基板の出力端子台「OUT1」に接続します。(図9, 10)
- 入出力基板に同梱の短絡コネクタを入出力基板のCN3(白)に差し込みます。(図9)
- 入出力基板上SW1の矢印を回し、番号を「9」に設定します。(図9)
- 室内PC板と入出力基板との通信設定を行います。設定は、取付説明書(2)に従って実施してください。



- ヒューミディスタットを使用するときは、加湿器の電気結線図を参考に加湿器電気部品箱内の基板CN4短絡線(青)を切断し、付属の閉端接続子にて接続してください(図11)。なおヒューミディスタットおよび配線材(0.75mm²以上)は現地手配です。接続部は必ず加湿器電気部品箱内に収納してください。

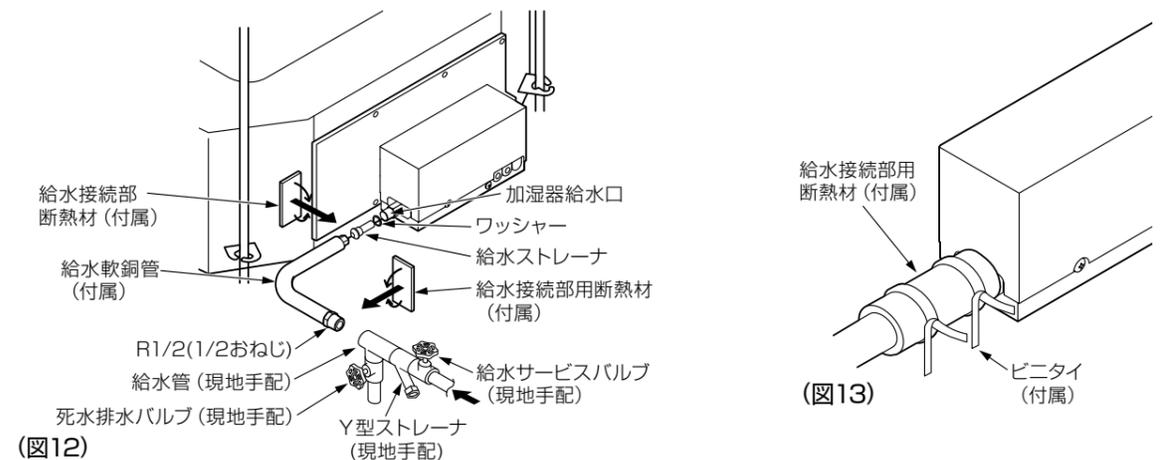


給水配管

- エアコンの据付説明書に従ってエアコン本体を据え付けてください。
- 現地給水管内の油分・塵埃などを除去するために、配管接続前にバケツなどで水を受けながら、十分なフラッシングを行ってください。
- 付属の給水軟銅管内にゴミが入っていないことを確認し、加湿器本体の給水口に給水軟銅管を接続してください。(ダブルスパナ使用、締付けトルク15~20N・m程度)
- 図12に従って現地手配の給水配管をしてください。
- 付属の給水接続継手(接続部はR1/2(1/2おねじ))を現地手配の給水管に接続してください。
- 接続部の水漏れ確認を行ってください。
- フレアナット接続部に付属の断熱材を巻き、ビニタイで固定してください(2カ所)。(図13)
- 現地手配の給水管にも断熱処理を行ってください(断熱材現地手配)。

お願い

配管内のフラッシングは必ず行ってください。フラッシングが不十分ですと、加湿材がぬれなかったり、異臭の原因となる場合があります。



TOSHIBA

東芝パッケージエアコン
(天井カセット形 4 方向吹出しタイプ)

気化式加湿器 取付説明書 (2)

形名 TCB-HS905U, TCB-HS1605U

日本国内専用品
Use only in Japan

このたびは東芝パッケージエアコン用「気化式加湿器」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。取付の前にこの説明書をよく読み、正しい取付を行ってください。

安全上のご注意については、使用する室内ユニットの据付説明書・取扱説明書をご覧ください。

室内PC板と入出力基板との通信設定

- 室内ユニットに通電できる場合は、①ワイヤードリモコン使用時、③省エネ neo リモコン使用時の設定方法に従って設定してください。
- 室内ユニットに通電できない場合は、②ワイヤレスリモコン使用時の設定方法に従って設定してください。

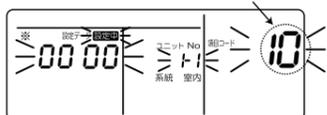
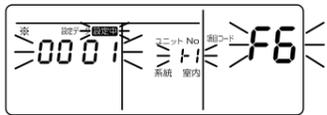
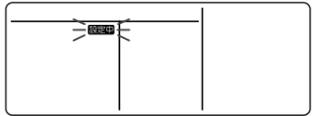
※本設定を行わないと加湿運転しません。

① ワイヤードリモコン使用時

電源ブレーカーを入れてください。運転停止中に設定を行います。(エアコンは必ず運転を停止させてください。)

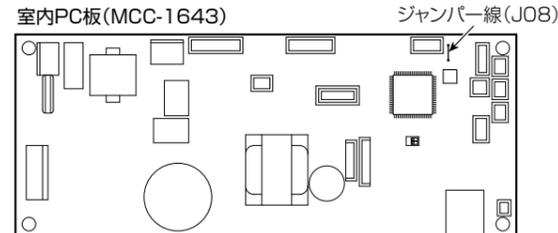
項目コード設定時のお願い

下記記載項目コード以外、絶対に設定しないでください。
もし記載以外の項目コードを設定すると、運転できないなどの製品トラブルになります。

手順	操作内容
1	「点検」+「セット」+「取消」ボタンを4秒以上同時に押すと、しばらくして表示部が図のように点滅します。 表示された項目コードが「10」になっていることを確認してください。  (※室内ユニットの機種で表示が変わります) ● 項目コードが「10」以外の場合は、「点検」ボタンを押して表示を消し、最初からやり直してください。 (「点検」ボタンを押したあと、約1分程はリモコン操作を受け付けません。) (グループ制御の場合、最初に表示される室内ユニット No が親機となります。) 「ユニット選択」ボタンを押すごとに、グループ制御内の室内ユニット No を順次表示しますので、設定を変える室内ユニットを選択します。 このとき、選択された室内ユニットのファンおよびフラップが動作しますので、設定変更する室内ユニットの位置を確認できます。
2	温度設定の「▼」/「▲」ボタンで、項目コード「F6」を指定します。 
3	タイマー時間の「▼」/「▲」ボタンで、「0000」→「0001」にします。 
4	「点検」ボタンを押します。(設定が確定します。) 「点検」ボタンを押すと、表示が消え通常停止状態となります。 (点検ボタンを押すと「設定中」が点滅し、約1分程はリモコン操作を受け付けません。) ● 「点検」ボタンを押したあと、1分以上経過してもリモコン操作を受け付けられない場合は、アドレス設定を誤っていることが考えられます。この場合は、再度自動アドレス設定に入りますので、手順1より設定変更をやり直してください。

② ワイヤレスリモコン使用時 (または、通電できない場合)

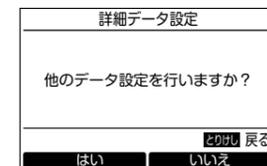
ワイヤレスリモコン使用時または通電できない場合に室内PC板のジャンパー線 (J08) をカットして設定する方法がありますが、一度設定すると元に戻りませんので注意が必要です。
(元に戻す場合は、(J08) 部を半田コテを使用してジャンパー線をつないでください。)
※ジャンパー線 (J08) をカットする時は、近くのジャンパー線 (J01) と間違えないように注意してください。



③ 省エネ neo リモコン使用時 (リモコンの種類により、画面表示が異なります。)

電源スイッチを入れてください。
運転停止中に設定を行います。(エアコンは必ず運転を停止させてください。)

- 1 「メニュー」を押してメニュー画面にします。
- 2 「メニュー」と「▼」を同時に4秒以上長押しして現地設定メニューにします。
- 3 現地設定メニュー画面で「▲」「▼」を押して「詳細データ設定」を選んで「設定」「F2」を押すと「サービス用です。設定変更が必要ですか?」が表示されるので、「はい」「F1」を押します。
- 4 “室内機”と“室外機”を選択する画面になった場合は、“室内機”が選択された状態で「設定」「F2」を押します。
● 室内ユニットのファンとフラップが動作します。グループ接続を行っている場合は、選択している室内ユニットのファンとフラップが動作します。



- 5 「<」「F1」を押すと項目コード (DN) が白黒反転表示するので、「>」「▼」を押して項目コードを「F6」に設定します。
- 6 「>」「F2」を押すとデータが白黒反転するので、「>」「▼」を押してデータを「0001」に設定します。
- 7 「メニュー」を押して設定を確定させます。
● 「メニュー」を押すと、「他のデータ設定を行いますか?」が表示されます。他の項目コード (DN) のデータ設定を行う場合は「はい」「F1」を押します。
● 他の設定を行わない場合は「いいえ」「F2」を押します。“室内機”と“室外機”を選択する画面になった場合は「とりけし」を押します。“設定中”の画面がしばらく表示されたあと、現地設定メニュー画面に戻ります。
- 8 「とりけし」を押して戻ります。

試運転

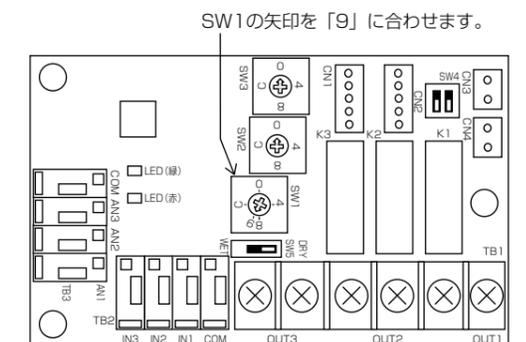
- 給水用サービスバルブを開けて通水してください。
- エアコンの運転スイッチを「暖房」にしてください。
- 温度設定を希望の温度にします。
- ヒューミディスタットの湿度設定目盛を最大にします。
- 運転/停止ボタンを押します。暖房運転と加湿運転を開始します。
- 運転を停止するには再び、運転/停止ボタンを押します。
- 暖房 (加湿) 運転開始後、30分ほど運転し、エアコン吹出口より加湿エレメントが一樣に濡れていることを確認してください。
- ヒューミディスタットの設定を変化させて、加湿器の ON、OFF が正常であることを確認してください。
- 加湿器の運転は圧縮機とインタロックしていますので、圧縮機が停止しているときは加湿器も停止します。

< 加湿運転ができない場合 >

- 入出力基板上的 SW1 の矢印を「9」に設定していないと、通信異常となり加湿器の運転ができません。また、設定番号を間違えると水漏れの原因となる場合がありますので、番号を必ず確認してください。
- エアコン電気部品箱の蓋を開けて入出力基板上的 LED 表示を確認してください。

LED (赤) 点灯: 正常 点滅: 異常
LED (緑) 点灯: 正常 消灯: 異常

SW1 を「9」に設定する場合は、運転停止中に行ってください。
また入出力基板のリモコン設定がされていない場合は、左記「室内PC板と入出力基板との通信設定」により設定してください。



⚠ 注意

エアコン設置後は元電源は入れたままにする
万一、給水用電磁弁がゴミかみ等により閉じなくなった場合の漏水を防止します。